



黄色ブドウ球菌選択分離用発色酵素基質培地 X-SA 寒天培地「ニッスイ」

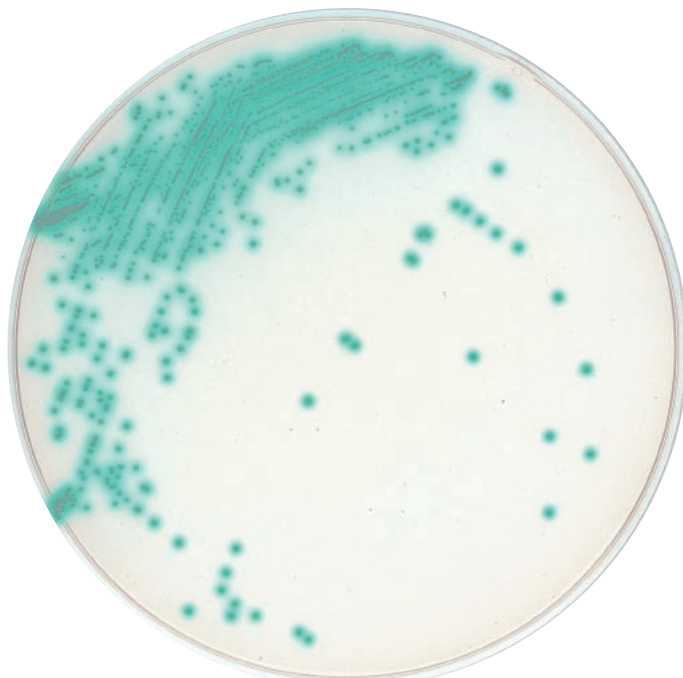
発色酵素基質の利用により24時間の培養で黄色ブドウ球菌の鑑別が可能です。

特徴

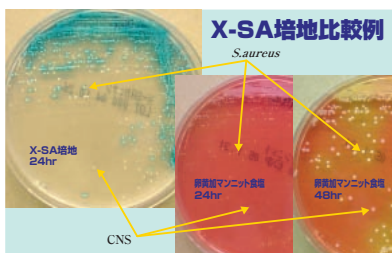
- 本培地は、発色酵素基質を用いた培地で、黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*)の判定が35~37℃、22~24時間の培養で可能です。
- 集落に色が着くため、簡単・明確に判定できます。
- グラム陰性桿菌、腸球菌、酵母様真菌の発育は抑制されます。

鑑別法

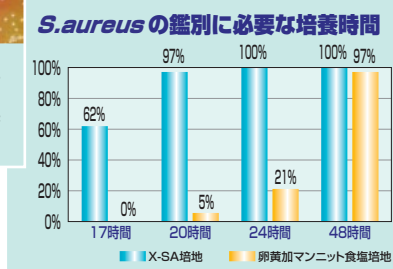
- 発色酵素基質により黄色ブドウ球菌は、青(水)色の集落を形成します。
- コアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)は、白色または水色の微小集落を形成します。
- Bacillus* sp.が発育し、薄い青色集落を形成することがあります。扁平状で光沢のない集落を形成しますので、グラム染色などで鑑別してください。
- 黄色ブドウ球菌の確定には、コアグラーゼ試験等の性状試験を実施し、同定してください。



黄色ブドウ球菌
(*Staphylococcus aureus*)



X-SA培地では24hrで両者 (*S. aureus*とCNS)の鑑別が容易であったが卵黄加マンニト食塩培地では48hr後でなければ鑑別が困難であった。



組成 ※X-SA寒天培地(粉末)

	51.0g(培地1L)中
ペプトン	13.0g
肉エキス	3.0g
塩化リチウム	10.0g
マンニト	10.0g
寒天	14.0g
選択剤	0.7g
発色酵素基質	0.3g
	pH 7.3±0.2

用途	品名	製品コード	包装	希望納入価(円)	状態	貯法・使用期限
黄色ブドウ球菌 選択分離用	ニッスイプレート X-SA寒天培地	51027	10枚	2,000	生培地	4~10℃(禁凍結)・4ヵ月間
	Easy Medium X-SA寒天培地	56230	200mL用x30包	26,800	顆粒	室温・2年間

黄色ブドウ球菌用発色酵素基質培地

フードスタンプ[®]「ニッスイ」X-SA 寒天

発色酵素基質の利用により24時間の培養で黄色ブドウ球菌の判定が可能です。

特徴

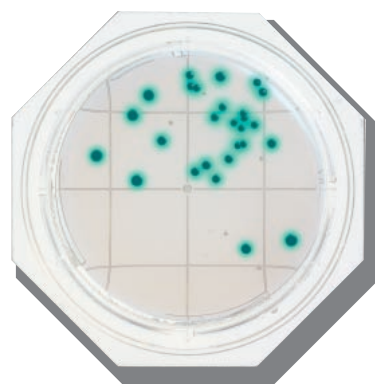
- 本培地は、発色酵素基質を用いた培地で、黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) の判定が22~24時間培養で可能です。
- 器具器材、培地調製などの準備の必要がありません。
- 検査したい場所にペタッと押しつけるだけで、簡単に検査できます。検査材料に培地面を押しつけるだけの簡単な操作ですので、現場でだれでも実施できます。
- 集落に色が着くため、簡単・明確に判定できます。

培地の使用法

- ①5連のフードスタンプを袋から取り出し、キャップが外れないように押さえながら、1枚ずつ上下に折り曲げ、使用する数だけ切り離します。
- ②キャップをとり、ただちに食品または環境検査材料の表面に培地面(寒天)を軽く押しつけます。
- ③キャップをして、フラン器にいれ、35~37℃で22~24時間培養します。
※培養温度、培養時間を厳守してください。
- ④培養後、陽性または陰性の判定を行います。

判定法

- 発色酵素基質により黄色ブドウ球菌は、青(水)色の集落を形成します。
※白色または青(水)色の微小集落、薄い青色の扁平状で光沢のない集落は、黄色ブドウ球菌ではありません。



黄色ブドウ球菌
(*Staphylococcus aureus*)

使用上の注意

- 1.表面が平滑でなかったり、油脂が付着している検査材料には適用できません。
- 2.強く押しすぎたり、こすったりしないでください。
- 3.使用済みのフードスタンプは、高圧蒸気滅菌または十分に煮沸して廃棄してください。
- 4.スタンプ培地上の集落数は、汚染菌数の絶対数をあらわすものではありません。
- 5.汚染程度をスクリーニングするものであり、その汚染菌数は必ずしもふきとり法と一致しません。

用途	品名	製品コード	包装	希望納入価(円)	状態	貯法・使用期限
黄色ブドウ球菌用	フードスタンプ「ニッスイ」X-SA寒天	06756	100枚	16,000	生培地	4~10℃(禁凍結)・4ヵ月間
		06757	30枚	5,100		

製造発売元



日水製薬株式会社

〒110-8736 東京都台東区上野3-23-9
URL : <http://www.nissui-pharm.co.jp>

お問い合わせ先 : カスタマーサポート
Tel.03(5846)5707